

せいぶだより

20号 (2020 3月)



上野西部地区 令和2年1月末 人口 3,163人
世帯数 1,479(男 1,535 女 1,628人)

買物バスの検討進む

総務・広報・人権部会

1月30日、上野西部地区市民センターにて社会福祉協議会の地域担当者、上野西部地区の各自治会長と民生委員児童委員、自治協の健康福祉スポーツ部会長等が出席して上野西部地域ケアネットワーク会議が開催されました。会議では昨年西部自治協が地域住民に実施したふれあいプラザ商業店舗閉店に関わる影響についてのアンケート結果の報告がありました。続いて他地区で実際に買い物送迎バスを運営しているNPO法人ゆいの里中林事務局長より送迎バス事業の概要説明がありました。

ゆいの里は平成18年2月に設立され、平成23年11月1日より5か月間国の補助を受けて高齢者買い物無料送迎バスのモデル事業を開始、試験運行期間終了後も自主事業として継続してきたことの説明がありました。その後ビデオを見せていただき各々疑問に感じたことなどを話し合いました。ゆいの里の現状の買い物バスは

対象者：高齢者、自歩行可能な障がい者及

びこれに準じる交通弱者

回数：1週間に1回、

利用料金：無料、

1台には運転手の他、乗降の支援を担当するメイトさん1名が乗るため利用者は8名までのことでした。

また2月17日、上野西部地区市民センターにてJA いがふるさとさんと買物バスについて話し合いました。JAさんは現状伊賀では買物バスの実績は無いが県内他地区で他のJAさんが行っているので検討したいとのことでした。

上野西部自治協では今後これらの話を進めていくには再度もう少し具体的な住民皆様の意向調査をする必要性を感じています。具体的にどう進めていくかは役員会にて至急協議する予定です。

www.kinkih.com



受付時間/10:00~17:00 定休日/第1・3火・毎週水曜日



(公社)中部圏不動産流通機構会員 知事免許第(6)2272号

株式会社 近畿不動産販売

伊賀市上野東町2922番7 ☎0120-92-7779

上野西部地区住民自治協議会が伊賀市のキラッと輝け！地域応援補助金制度を利用して進めてきました城下町の散策ガイド作成事業にて散策ガイドマップが完成いたしました。

地域の課題として町によっては高齢化率が60%を超えるなど西部地区の少子高齢化が進み、地域の伝統文化を支え継承していく力が近年特に弱くなってきています。その為先ず地域住民には地域の歴史文化に親しんでいただき地域の良さを再認識してもらい、合わせて観光客へのおもてなし情報発信と地域の賑わい向上の目的のため散策ガイドマップ作成を企画しました。

散策ガイドマップは日本語版・英語版・中国語繁体字版を用意し訪日外国人観光客に対応できるように考慮しています。今後これらの散策ガイドマップを地区内の商店や企業さんに置いていただくようお願いする予定ですが会員皆様のお知り合い等で置いていただけそうなところがあれば事務局までご紹介ください。地区外大歓迎です。

この散策ガイドマップは会員皆様に見本



として1部ずつ配布いたしますが観光客に渡したい等部数追加のご要望がございましたならお手間ですが各自治会長さん又は事務局までご連絡ください。

なお、散策ガイドマップで紹介しています掲載スポットですが昨年7~8月に会員さんに実施いたしましたアンケート(西部全体で1500、自治会長さんを通じて実施)の結果に基づいて決めさせていただいております。ご協力いただきました方に改めてお礼申し上げます。

防災の豆知識

防災・防犯・交通安全部会

12 我が家の地震対策 通電火災

家庭への電気の入口にはブレーカーが設置されています。これは、家庭での電気使用量が契約量以上になった時や漏電が起きている時などに作動して、自動的に電気の供給を止める装置です。自分でこれを操作する(ブレーカーを落とす)ことも容易です。ガスメーターとは異なり、感震ブレーカーというものは存在しますが、一般的ではありません。

大きな地震が発生すると、多くの場合停電が起こります。すると家の中の電気製品は総て作動を止めますから、地震によって電化製品や電気配線が破損したとしても、これらが火災原因になることはないはずですが、しかし、停電から復旧した時には、これらへの再通電により発火が起こる可能性は大きいのです(通電火災)。阪神淡路大震災の火災の原因の多くは、この通電火災でした。

通電火災を防ぐには、ブレーカーを落とすことです(避難をする時には特に)。揺れの直後は停電のために電化製品なども止まっているので、ブレーカーに意識がおよびにくいでしょう。しかし、是非とも実行をしてください。

人権講演会

上野西部地区住民自治協議会

1月25日(土)人権講演会が上野西部地区市民センターで開催されました。

『少子高齢化社会における高齢者の人権について』を演題に“ヒューリアみえ”理事の大谷 徹さんが講演、地域から30名余りの方が参加。伊賀市の65歳以上の高齢化率が33%を超える中、いずれは高齢者となる事を考え高齢者に関心を持ち、福祉を含めた『人権のまちづくり』の推進について講演されました。



グラウンドゴルフ大会

健康・福祉・スポーツ部会

2月2日(日)第35回上野西部地区グラウンドゴルフ大会が崇広中学校グラウンドで開催されました。気温は低いものの、穏やかな日差しの下、45名がエントリーしました。開会式 トロフィー返還の後、一斉に快音がグラウンドに響き競技開始。腕自慢のメンバーが次々にコースを回りました。熱気あふれる歓声上がるなか、休憩をはさんだ2ラウンドのゲームを参加者全員楽しみました。



上位入賞の方々

男子 優勝	橋井洋征さん	女子 優勝	善田つねさん
2位	福山征明さん	2位	古市幸子さん
3位	西尾 佐さん	3位	谷本淑子さん

上野西小学校 地域学習

上野文化美術保存会

2月12日(水)上野天神祭の学習会が伊賀市立上野西小学校多目的ホールで開催されました。地域学習の一環として西小学校からの依頼で、上野文化美術保存会 中村会長 上野西部地区住民自治協議会 松生会長から鬼・だんじり行列の成り立ち、お囃子について小学3年生に講演しました。西小学校は上野天神祭に参加している子供が多く沢山の質問があり、充実した学習会に成りました。



年輪伊賀支部俳句会報

令和二年二月

春立ちぬ大空に透く槻寄生木

川口登子

法堂の大庇の影の鼯

原 禮子

はや飾る硝子の雛のうすみどり

和田美代子

鉤引の鉤の一枝の梅ひらく

永井みよ

野猿出づる古墳の村の梅白し

土井陽代

桃剪定脚立に一人缺音

島井 節

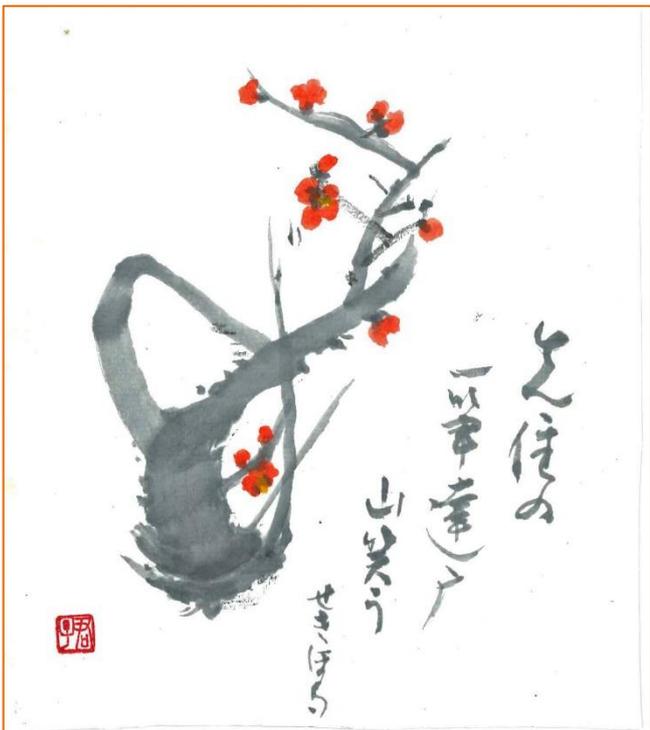
陶芸師有終の壺に寒椿

西田尚子

如月にして初雪の伊賀盆地

西田 誠

俳画サークル



おしらせ

2月22日(土)～3月3日(火)

城下町のお雛さん

伊賀市上野本町通周辺

3月8日(日) 健康教室

上野西部地区市民センター

3月18日(水)上野西小学校卒業式

せいぶだより 自治協と公民館広報誌

第20号 令和2年3月1日

発行 上野西部公民館

上野西部地区住民自治協議会

総務・広報・人権部会

住所 伊賀市上野福居町3330-1

電話 0595-23-9779

[http:// www.uenoseibu.com/](http://www.uenoseibu.com/)